

江戸川左岸流域下水道事業

事業再々評価

平成20年11月

千葉県県土整備部下水道課

事業概要図



江戸川第二終末処理場



事業概要

江戸川左岸処理区

項目	全体計画
事業化年度	昭和47年度
工事終了年度	平成49年度
下水排除方式	分流式
処理区域面積	21,036ha
処理人口	1,430,000人
処理場	江戸川第一終末処理場 (8系列、能力 310,000m ³ /日) 江戸川第二終末処理場 (9系列、能力 464,000m ³ /日)

事業概要

市町村名	事業化年度	全 体 計 画	
		処理区域面積 (ha)	処理人口 (人)
市川市	S47	5,529	438,000
船橋市	H3	476	37,000
松戸市	S47	5,314	440,000
野田市	S56	4,337	158,000
柏 市	S63	317	20,000
流山市	S56	2,871	162,000
浦安市	S50	1,697	147,000
鎌ヶ谷市	-	495	28,000
計	-	21,036	1,430,000

指標1 費用効果分析

市町村名	総便益 (B) (億円)	総費用(C) (億円)			費用便益比 (B/C)
		流域 事業	関連 公共事業	費用計	
市川市	9,791	2,503	2,039	4,542	2.2
船橋市	586	154	184	338	1.7
松戸市	9,429	2,393	3,219	5,612	1.7
野田市	3,169	805	1,141	1,946	1.6
柏市	365	116	127	243	1.5
流山市	3,006	801	764	1,565	1.9
浦安市	4,081	1,053	663	1,716	2.4
鎌ヶ谷市	216	99	71	170	1.3
流域計	30,643	7,924	8,208	16,132	1.9

指標2 事業の進捗状況

項目	概要
事業の進捗状況	事業計画12,082haに対し、 整備見込みは9,147ha 事業計画の76%
処理場用地の取得状況	江戸川第一終末処理場は 事業計画30.3haに対し、取得見込みは12.1ha 江戸川第二終末処理場は取得済み
処理施設の 供用状況	江戸川第一終末処理場 38,800m ³ /日 江戸川第二終末処理場 464,000m ³ /日 処理能力502,800m ³ /日に対し、 464,000m ³ /日が整備済み 事業計画の92%
供用開始区域 の接続状況	接続率は92%
地元情勢等	県議会及び関連市、地元等の理解・協力は得られている。

指標3 社会経済情勢等

項目	概要
社会経済情勢	つくばエクスプレス沿線整備に伴う土地区画整理事業については、下水道計画に見込んでおり、これまで下水道事業に影響を与える大きな変化はない。
自然環境条件	水質汚濁に係る新たな環境基準の設定はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直しを行なっている。

指標4 コスト縮減・代替案

項目	概要
コスト縮減	<p>既存施設については、適切な維持管理を行うと共に、改築修繕計画を定め、施設の延命化を図っている。</p> <p>また、長距離推進等の採用などによりコスト縮減に努めている。</p>
代替案	<p>単独公共下水道と流域下水道との比較の結果、流域下水道に代わる整備手法はないと考える。</p>

流域下水道事業の対応方針

項目	内容
対応方針(案)	当処理区は事業が順調に推移していることから、引き続き事業を継続する。